



おおた楽毛 中学校

教育
目
標

- 考えて創造する生徒
- 苦しみを克服する生徒
- 愛の精神に生きる生徒
- 生命を尊重する生徒
- 世界に目を向ける生徒

令和6年 1月25日
No. 11

釧路市立大楽毛中学校
校長 林 政 孝

「マジか!？」を自分事として

校長 林 政 孝

2024年1月1日、「マジか!？」と思う出来事がありました。令和6年能登半島地震です。元日の夕方でしたから、家族で団らんという家庭も多かったことが想像できます。

あの地震が、もしも釧路で発生していたら…本校の生徒たちは、家屋が倒壊するかもしれない中、自分の命を守る行動ができていたのか？津波警報が発令され、一人でいたなら、避難場所は分かっているのか？ご家族と会う術は確認できているのか？？？といったことを考えました。

全然、別件で、冬休み中に読んだ雑誌の中に、「マジか!？」と思うような調査研究結果が掲載されていました。学校だよりの8月号でも取り上げた、東北大学の川島隆太教授（『脳トレ』の開発者）のグループが行った調査研究なのですが、

○インターネットの使用習慣で脳の発達が阻害される～5～18歳の子どもたち223名の脳の容積等をMRIで計測し、3年間のbefore-afterで比較したところ、インターネットを頻繁に使っていた子供たちほど、言語能力の発達が小さく、幅広い範囲における脳の発達にも悪影響が見られた。

○スマホの使用は成績に悪影響を及ぼす～たとえ同じ時間、勉強をして睡眠をとっていたとしても、1日1時間以上のスマホを使用する子供の成績は低い傾向にある。つまり、スマホをたくさん使う子供たちは勉強をしないから、あるいは寝不足だから成績が低いというわけではなく、脳の広範囲で発達が止まってしまっているため、スマホを使った時間の分を多く勉強したとしても帳消しにはできない。

○「Google効果」「デジタル性健忘」というものがある～スマホで検索した情報は、覚えることができないというより、そもそも覚える必要がない情報と、私たちの脳は捉える。なぜなら、検索することで何度でも簡単に情報を得ることができるから。わざわざ記憶に留めて必要な時に思い出すといった労力を使う必要がなくなるため、脳は最初から記憶することを放棄してしまう。

とうものです。「マジか!？」「怖っ!？」と思いませんか？

これも8月号で書いたとおり、「記憶、学習、理解、推理、推測、我慢、意図、注意、判断といった“思考の脳”は11～18歳くらいの間が最も発達する」「記憶に大きく関与すると言われている『海馬』は10歳くらいから発達し、その中でも、文字や音声での言葉を上手に使いながら記憶する能力は中学生、高校生くらいにピークを迎える」「脳の発達に大きく影響を与えるのは『遺伝』よりも『社会的環境』の方がはるかに大きい」のです。

「マジか!？」と思うことを、自分事として考えられるか…大きな分岐点ですね。

ぜひ、ご家庭でも話題にいただけると幸いです。

《2月行事予定表》

日	曜	主 な 行 事
1	木	学力テスト前部活動休止 定時退勤日
2	金	学力テスト（全学年） 放課後学習
3	土	土曜活動④：授業参観、学級懇談（1・2年）
4	日	
5	月	放課後学習
6	火	感冒調査
7	水	放課後学習
8	木	昼清掃 小中合同研修会
9	金	新入生保護者説明会 学年末テスト範囲表配布（1・2年）
10	土	
11	日	建国記念の日 高専学力検査
12	月	振替休日
13	火	朝会 感冒調査 公立高校推薦入試面接検査
14	水	学校図書館地域開放 放課後学習
15	木	パワーアップ週間 SC来校 運営委員会 放課後学習 武修館一般入試 私立高校入試A日程
16	金	新入生体験入学 放課後学習
17	土	
18	日	
19	月	昼清掃 ALT来校 職員会議 学年末テスト前部活動休止
20	火	感冒調査 昼清掃 生徒会活動日 定時退勤日 私立高校入試B日程 学年末テスト前部活動休止
21	水	午前授業 公立教研 学年末テスト前部活動休止 定時退勤日
22	木	学年末テスト（1・2年） コミュニティ・スクール協議会
23	金	天皇誕生日
24	土	
25	日	
26	月	
27	火	感冒調査
28	水	外国語巡回指導 学校図書館地域開放 放課後学習
29	木	月末統計

十五日（木）～二十一日（水）
パワーアップ週間

3学期がスタートしました

1年のまとめの時期となる3学期が始まりました。

始業式では、学校長の式辞の中で、冬休み中に発生した能登半島地震に関わり、上記のことに加え、「災害時にSNSなどでフェイクニュース（事実と異なる情報）を発信した人がいたことにより、本当に助けを必要としている人の救助が遅れたこと」や「普通の生活ができることの幸せをかみしめ、今できることをやるということを大切にしてほしい」という願いが示されました。

その後、学力向上推進部から、これまでの家庭学習メディアシートの記録をもとに、現状とこれからの取組方についての話がありました。

学校では、今後も一人一人が今、取り組むべきことを見極め、確実に取り組めるよう、指導を継続していきますので、ご家庭でも、お子様の状況を見ながら、適切な声かけをお願いいたします。



学校からのお願いです

＜お願い①＞

本校は、毎朝8:05から職員の出欠確認を行っています。欠席等の連絡は、できれば8:05～8:15を避けていただくと幸いです。

＜お願い②＞

お子様に発熱等の症状がある場合は、お子様が以降の学習に臨める状況かということに加え、感染症拡大防止の観点等から総合的に判断し、早退（お迎え）をお願いする場合があります。ご了承ください。

職員紹介

教諭 谷口 瑠里（標茶町立塘路小中学校より）
育児休業の終了にとともに、12月に着任しました。特別支援学級と全学年の国語と家庭科の授業を担当します。
子供たちの元気な様子を見て、一生懸命頑張ろうと気持ちを新たにしています。どうぞよろしくお願いいたします。

第2回学校評価アンケートより

12月に実施しました学校評価アンケートの結果です。お忙しい中にも関わらず、ご協力いただきました保護者の皆様、ありがとうございました。生徒、保護者、教職員のアンケート結果からわかる成果や課題を、今年度の本校での取組ごとにまとめました。

①対話的学びの充実

- 教科によって差があるものの、生徒が主体となった授業へと改善が進んでいることがうかがえます。
- 対話的な学びの充実が、基礎的な学力の向上につながり、それをお子様や保護者の皆様も実感できるよう、一層の授業改善を進めていきます。

②評価・評定、ICT活用

- 的確な評価やフィードバックが次の授業改善につながっていることがうかがえます。
- 保護者の方の自由記述にある「結果」の伝え方は、得点通知表の在り方を含めて検討していきます。
- ICTの活用については、充実が図られてきていることがうかがえます。
- 生徒の学習活動における思考ツールとして、一層ICTを活用していきます。

③生徒指導の強化

- 積極的な生徒指導、問題行動や不登校への対応が、一定程度できていることがうかがえます。
- 生徒が「自己指導能力」を発揮し、高めていくことができるよう指導していきます。

④特別支援教育の充実

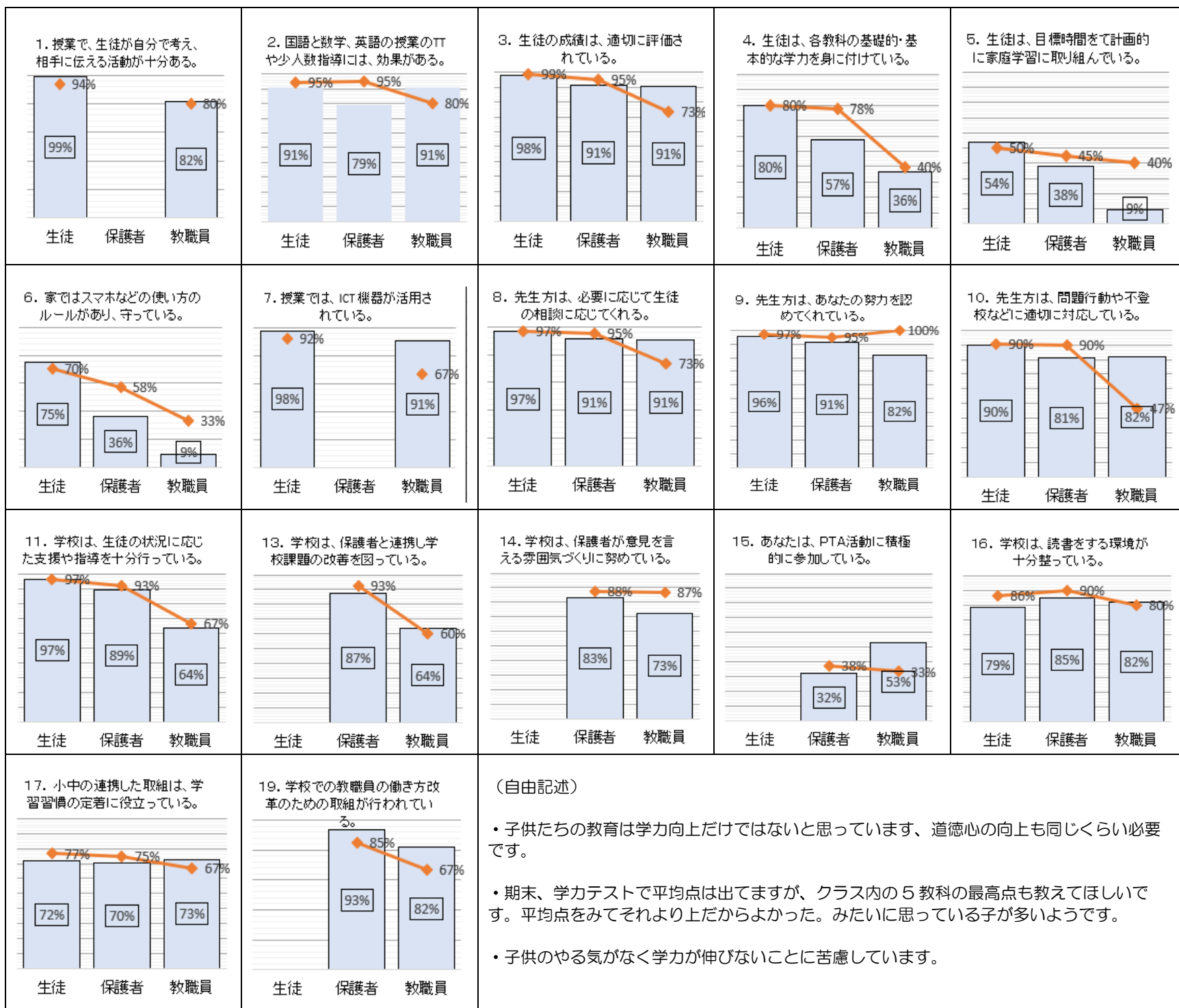
- 特別支援学級に在籍する生徒への対応の充実が図られていることがうかがえます。
- 特別支援学級に在籍しないが支援を要する生徒への教職員の理解、情報共有、対応を充実させていきます。

⑤学校評価の改善

- 保護者の皆様に対して、学校としての取組や、そのことによる変容を実感できるように工夫していきます。
- 次年度以降は、保護者や生徒アンケートの結果を踏まえた上で、教職員が評価をするようにしていくことを検討していきます。

⑥本に親しむ環境づくり

- 担当者を中心に、環境整備が進んでいることがうかがえます。
- 他の教育活動とのバランスや、小学校と連携した活動も視野に入れながら、環境整備を一層進めていきます。



※表中の、「棒グラフ」と「数字」は12月実施分の結果を、「折れ線グラフ(◆)」と「四角で囲まれた数字」は7月実施分の結果を表しています。
 ※数字は「よくあてはまる」と「ややあてはまる」と回答した人の割合(%)を表しています。